東北大学大学院国際文化研究科
第32回公開講座「国際文化基礎講座」

宣教師と ラストサムライの軌跡

―江戸時代日本と東アジアの視点から



日時 2026年11月14日（土）13:00 ～ 16:30

実施方法 オンライン（Zoomにて開催）

対象 どなたでも参加いただけます。
（要事前申込／申込締切11月10日）
参加無料





※画像出典：ColBase（カルディム『日本殉教精華』）、Wikimedia Commons、Gallica／画像を加工して使用

プログラム

13:00　**開講式**（研究科長より挨拶）

13:05　**講義１**
江戸時代初期の宣教師潜入事件とその朝清関係への影響
講　師：木村　可奈子

14:15　**講義２**
ジュール・ブリュネは「ラストサムライ」か？
―フランスに残された各種史料を中心に
講　師：中津　匡哉

15:30～16:30　**ラウンドテーブル**　質疑応答・意見交換の時間です。お気軽にご参加ください。

お申し込みはこちら

申込締切
11/10



©東北大学・研一

▶詳細・申込は国際文化研究科ウェブサイトから>>>

東北大学　国際文化　公開講座

https://www.intcul.tohoku.ac.jp/

お問い合わせ：東北大学大学院国際文化研究科（教務係）
Eメール：int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp

GSICS TOHOKU UNIVERSITY

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 4 質の高い教育をみんなに

宣教師とラスト・サムライの軌跡
―江戸時代日本と東アジアの視点から

講義1　江戸時代初期の宣教師潜入事件とその朝清関係への影響

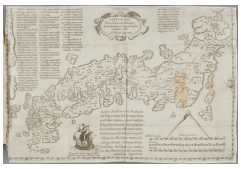


木村　可奈子
准教授
東北大学大学院国際文化研究科
アジア・アフリカ研究講座
専門：東洋史・東アジア国際関係史

江戸時代にはキリスト教が禁止され、宣教師やキリスト教徒の渡航が厳しく禁じられましたが、日本への潜入を試みる宣教師は後を絶ちませんでした。遠藤周作の小説『沈黙』の主人公ロドリゴのモデルとなったイエズス会宣教師ジュゼッペ・キアラもその一人であり、1643年に潜入を図るも捕えられ、棄教して「岡本三右衛門」と改名し、キリシタン屋敷に幽閉され生涯を終えました。

1642年から1643年にかけて相次いだ宣教師の潜入事件を受け、幕府は諸藩に沿岸警備を徹底させたのみならず、隣国の朝鮮に対しても、不審な船が漂着した際には釜山の倭館を通じて引き渡すよう要請しました。そしてこの要請は、明清交替という激動の渦中にあった朝鮮の対清関係に対し、思いがけない影響を及ぼすことになります。

本講義では、一見すると無関係に思える日本への宣教師潜入事件と朝鮮の対清関係が、明清交替という時代の転換期においていかに関連していたのかを、歴史的背景とともに紐解きます。





カルディム『日本殉教精華』
出典：ColBase（https://colbase.nich.go.jp/）
国立文化財機構所蔵品統合検索システム

講義2　ジュール・ブリュネは「ラストサムライ」か？―フランスに残された各種史料を中心に



中津　匡哉
講師
東北大学大学院国際文化研究科
ヨーロッパ・アメリカ研究講座
専門：幕末・明治期の日仏交流史

日本の幕末史に名前が登場する外国人の中に、ジュール・ブリュネ(Jules Brunet)というフランス人士官がいます。彼は、徳川幕府の陸軍近代化を任務として1867年に来日したフランス軍事顧問団の一員ですが、日本の内戦である戊辰戦争に外国人、しかも徳川方として参加したことにより後世にその名を残しています。このブリュネの行動は、歴史小説や映画の題材となり、特に2003年に公開された『ラストサムライ』は、彼の名を広く世に知らしめました。しかし、この歴史文学的文脈で語られるブリュネの英雄譚は、史実または彼の思想を正確に反映しているのでしょうか。本講義では、フランス防衛省資料館(Service historique de la Défense)に残されている、ブリュネの学歴や軍歴情報、そして彼が日本からフランスに送った書簡などのフランス語史料を手掛かりに、彼の人物像を見つめ直し、戦場において彼が何を考え、日本人たちとどのようなコミュニケーションをとっていたのかを考えます。また同時に、彼を取り巻く日本人たちの証言も活用することで、他者からブリュネに投げかけられた視点も取り入れたいと思います。





フランス顧問団イラスト
出典：Gallica（http://gallica.bnf.fr/）
Bibliothèque nationale de France

ジュール・ブリュネ写真
出典：Wikimedia Commons
［Public Domain］

国際文化基礎講座とは

目まぐるしく変動する国際情勢、いまだに混迷を続ける日本経済、21世紀に突入していよいよ抜本的な対応を迫られる環境・資源問題、多様な宗教や文化に起因する国家間・民族間の軋轢など、私たちは、身の回りの様々な問題に直面しています。これらに対処するためには深い洞察力が求められることは、いうまでもありません。

この講座では、市民の皆さま・地域の皆さまと問題意識を共有しながら、歴史を紐解きつつ、現代を、そして将来を見据えていきたいと思います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

申込方法

受講希望の方は、国際文化研究科ウェブサイトよりお申込みください。

※申込いただいた方には、開催日前日までにZOOMのURLについてご案内します。

問合せ先
東北大学大学院国際文化研究科教務係
〒980-8576 仙台市青葉区川内41